

令和4年度 男子第61回・女子第52回
西日本学生ハンドボール選手権大会

競技上の注意事項

日時 令和4年8月9日（火）15時30分
場所 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター

競技上の注意

1. 競技規則

本大会は、令和4年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則によって行う。
IHFが本年7月1日から施行している新ルールを採用する。

2. 競技時間

①予選リーグは25分－10分－25分で実施、延長戦は行わない。決勝トーナメント、インカレ決定戦は30分－10分－30分で行われる。決勝トーナメント準決勝までとインカレ出場決定戦は第1延長まで、男女決勝戦は第2延長まで実施する。それでも勝敗が決しない場合には7MTCを実施する。

②競技終了の合図は、ブザーまたは笛で行う。

③退場者は、退場者電光掲示板を使用し、入場時間表示で対応する。電光掲示板表示は「0」になれば入場することができる。退場者電光掲示板が使用できない会場においては、オフィシャル席上に背番号と入場時間を掲示する。入場の判断は、チームの責任による。

3. 大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会の検定球のモルテン社製 ヌエバX5000（男子 H3X5001-BW、女子 H2X5001-BW）を使用する。空気圧は試合開始前、TO・審判員と両チーム責任者の合意の下、決定する。

4. 競技会場

コートのはきは正規の40m×20mである。

5. メンバー表の提出、トス、ユニホームについて

①メンバー表の提出、トス、ユニホームの確認は、第1試合のチームは試合開始の30分前、第2試合以降は、前の試合の前半終了直後に記録席前で行う。メンバー表は大会申し込みされた役員5名、選手16名までを記載して提出すること。また、役員には必ずA～Eの役員カードの記号を記入しておくこと。

②ユニホームの確認時には、本大会で着用するすべての種類のユニホームを持参すること。調整がつかない場合には、チーム番号の大きいチーム（またはプログラムの右側に記載チーム）が変更することとする。（ユニホームは当該チームで事前に打ち合わせしても構わないが、当該レフェリーの承認が必要なことを忘れず、必ず打ち合わせ時にすべてのユニホームを持参すること）

③トスは、ユニホーム確認時に行う。選手、チーム役員いずれでもよいが、その場で判断できる者でなければならない。

④短パンの下に着用するサイクリングパンツの着用、靴下など日本協会ホームページに掲載の「服装及び身に着けられる装具について」を本大会でも準用する。審判員、競技役員がチェックするが、責任はチーム責任者及び選手にある。

6. 登録証の提出及び返却、メンバーの確認

①代表者会議で決定したチーム役員、選手のみが競技に参加、出場できる。登録証は常に携帯すること。また、試合ごとに登録証を提出しなければ、試合に出場、参加することはできない。

②ベンチには、チーム責任者1名（A）を含みチーム役員5名、選手16名の合計

21名まで入ることができる。

- ③登録証は、メンバー表の提出と同時にTOに提出する。審判員とTOによって、チーム役員と選手及び登録証が確認される。試合終了後、TDから両チーム代表者に登録証が返却される。直接失格となったプレイヤーの登録証はその場では返却しない。
- ④チーム役員は、大会主催者が準備したA・B・C・D・Eカードを着用し、試合終了後返却する。
- ⑤チーム役員は相手チームのコートプレイヤーとはっきり区別のできる服装でなければならない(同色のユニホームとポロシャツなど不可)。TOによって着替えを指示された場合は、その指示に従わなければならない。その指示に従わない場合は、交代地域に入ることが許されない。
- ⑥チーム役員は原則としてベンチに座っていなければならない。ただし、原則としてチーム役員1名のみが、戦術的な指示を出すことや、治療を目的としてコーチングゾーンの範囲内で動くことが許される。

7. 公式記録用紙の確認

- ①チーム責任者は、試合開始前にチーム役員氏名、カードナンバー(A～E)、及び選手の氏名と背番号が正しく記入されているかを確認し、サインをする。できれば、メンバー表提出後、怪我で交代可能な競技開始10分前までに記録席にて、確認、サインすることが望ましい。
- ②公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

8. 交代地域

- ①各チームのボールは、競技開始前にケースに収納し、ベンチの後方(交代地域内)に置く。競技開始後にボールに触れることを含めて、ボールの使用は禁止する。
- ②飲料水は、飲み口の細い容器を使用すること。コップの使用を禁止する。
- ③交代地域では、あらゆる通信機器の使用を禁止する。

9. チームタイムアウト

チームタイムアウト請求カード(グリーンカード)は、チーム役員だけが提出ことができ、提出するためにコーチングエリアを超えたら、すぐにグリーンカードを提出しなければならない。躊躇することは許されない。ただし、提出時の試合の状況や、提出のタイミングにより、チームタイムアウトが認められない時がある。その場合、記録席員はグリーンカードを受け取らず、返却することになる。

10. 休憩時間(ハーフタイム)のコートの使用

休憩時間(ハーフタイム)のコートの使用は、次の試合のチームの練習に使用する。

11. 2足制の厳守

競技会場内は、必ず体育館シューズ(インシューズ)を着用し、屋外シューズと区別すること。

12. 松やに・松やにスプレーの使用禁止

松やに及び松やにスプレーに類するものは一切使用禁止とする。使用した場合は即刻失格とする(学連申し合わせ事項)。ただし、両面テープのみ使用可とする。各チームにおいては、テープの後始末とゴミの持ち帰りを実践すること。

13. TO、裁定委員会

- ①本大会にTOを配置する。TOは、競技委員長のもとで競技役員として各試合に立ち

会、各試合を円滑に運営するために、審判員、全ての競技役員、補助員と協力して試合を管理する責任者である。

- ②本大会に裁定委員会を設置する。委員は、競技委員長、競技副委員長、審判長、全日本学生連盟競技担当委員とする。なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日に裁定をし、関係者に通知する。その結果は、各会場に公示する。

14. 次の試合の選手の競技場への立ち入りについて

次の試合の選手は、試合終了時に両チームの挨拶が終了するまで競技場への立ち入りを禁止する。競技場内は常に秩序を保ち、次の試合の選手が競技場内でウォーミングアップをしたり、ボールを使用したりすることを禁止する。また、競技場内のフロアに座って試合を観戦することも禁止する。次の試合の選手が競技場内でウォーミングアップをしたり、ボールを使用したりすることを禁止する（仮に入場を許可されてもドリブルや壁打ちなどボールの使用などは厳禁とする）。

15. 臨時トレーナー席

役員登録されていないチーム帯同のトレーナーのために、交代地域の外側に席を設置する。臨時トレーナーは、公的資格を有していなければならない。臨時トレーナーは、各試合前にマッチバイザーに届け出る。臨時トレーナーは、いかなる理由があっても、交代地域、コートに立ち入ることはできない。したがって、選手は、一時的に交代地域から許可なく離れて治療などを受けることができる。

16. チーム引率者の確認

チームの引率責任者を試合前に確認するので、オフィシャル席の側に必ず待機しておくこと。

救急病院への連絡、傷害保険 等

1. 救急車や病院の手配については、大会本部に問い合わせた後、基本的には各チームで別紙諸連絡に記載している病院に直接行ってください。
2. また、ケガ等の外傷で病院の治療を受けられる場合、大会で加入している下記傷害保険会社に直接ご連絡ください。

■保険会社 Chubb 損害保険会社

(代理店 合同会社 さわやか保険事務所 担当土井 修)

TEL:082-881-1332 携帯電話:090-3376-7576

「いつ、どこで、だれが、どうなったか、チーム名、連絡者、電話番号」をお知らせ下さい。

大会本部

(昼間) 会場 キリンビバレッジ周南総合 SC 大会本部

(夜間) 宿舎 HOTEL AZ 山口徳山 0834-32-5511

緊急連絡先 (兼感染症感染連絡先)

真鍋 亮 (中四国学連理事長) 090-4786-8718